平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年２月７日

上 場 会 社 名	株式会社Ｍｉｓｕｍｉ	上場取引所	福
コ ー ド 番 号	7441	URL	http://kk-misumi.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	岡　恒憲
問合せ先責任者	（役職名） 取締役サポート本部長	（氏名）	神野　直也　　(TEL) 099-260-2213
四半期報告書提出予定日	平成26年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	48,898	10.5	462	△33.6	711	△23.8	487	△14.2
25年３月期第３四半期	44,270	2.6	696	48.6	934	50.8	568	102.5

(注) 包括利益　26年３月期第３四半期　671百万円(　14.0%)　25年３月期第３四半期　588百万円(　168.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	80.36	―
25年３月期第３四半期	93.65	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	36,117	13,887	37.9
25年３月期	34,234	13,402	38.6

(参考) 自己資本　26年３月期第３四半期　13,703百万円　　25年３月期　13,218百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
26年３月期	―	15.00	―		
26年３月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,328	2.8	761	△16.0	895	△28.0	516	△31.7	85.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　－　社（社名）　　、除外　－　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	6,100,503株	25年３月期	6,100,503株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	30,669株	25年３月期	30,669株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	6,069,834株	25年３月期３Ｑ	6,069,834株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和等により、円安や株価の回復が進み、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、当社グループの営業基盤である南九州の経済は、投資関連や生産活動に持ち直しの動きが見られるなど、回復傾向にありました。一方、電気料金の値上げや円安による輸入品価格の上昇の影響など企業収益の押し下げリスクもあり、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中で当社グループは、「ＣＨＡＮＧＥ＆ＤＡＳＨ～新しい価値観で、速やかに行動する～」のスローガンのもと、グループ一丸となって、従業員の意識改革を促し、事業部門の整理・再構築による事業全体のレベルアップを図り、販売力や競争力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は488億98百万円（前年同四半期比10.5％増）となりましたが、仕入価格の上昇等により売上原価が増加したため、経常利益は７億11百万円（前年同四半期比23.8％減）、四半期純利益は４億87百万円（前年同四半期比14.2％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

１　エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、利便性の向上や販売の強化を目的に、８月に伊敷ＳＳをＤｒ.Ｄｒｉｖｅ伊敷店としてリニューアルするとともに、11月には、熊本県八代市内のＳＳ１店舗を買取り、セルフ八代北ＳＳとしてオープンいたしました。また、12月には、震災対応ＳＳとして、城西通武町ＳＳをリニューアルし、大震災に強い設備を有する地域貢献型かつ省エネ運営のＳＳとなるＤｒ.Ｄｒｉｖｅセルフ城西通武町店をオープンいたしました。

ガス部門においては、販売網の拡大を目的に、鹿児島県肝属郡肝付町内でガスの販売権を買取り、４月にミスミガス内之浦店を新設するとともに、新規顧客の開拓や販売の増加に努めました。

以上の結果、売上高は386億58百万円（前年同四半期比11.8％増）、セグメント利益（営業利益）は５億45百万円（前年同四半期比26.1％減）となりました。

２　フード＆ビバレッジ

「フード＆ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、ＫＦＣ店舗のイメージ向上を目的に、４月にＫＦＣ川内店を改装するとともに、販促活動等による新規顧客の開拓と来店頻度のアップに努めました。

ミネラルウォーター部門においては、宅配の新規契約の獲得やレンタルサーバーによる販売の強化など、販売数量の確保に努めました。

しかしながら、競争が激化している外食部門の売上不振等により、売上高は39億59百万円（前年同四半期比5.8％減）、セグメント利益（営業利益）は１億71百万円（前年同四半期比37.4％減）となりました。

３　ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、利便性や運営効率の向上を目的に、５月にメディアミスミＴＳＵＴＡＹＡ南港店でセルフレジを導入するとともに、提案商品の売場拡充や絵本作家のイベントを開催するなど、幅広い世代の集客に努めました。

自動車部門においては、平成25年２月から販売を開始したプジョーブランドの新車販売やタイヤの販売に注力し、収益確保に努めました。

また、次世代のホームエネルギーの実現に向けて、新エネルギーやリフォーム事業を一層推進し、新しい暮らしを創造するサービスを提供するため、４月にホームライフ部門を新設するとともに、環境に配慮しながら快適な暮らしを実現する家「スマートエコイエ」のモデルハウスを８月にオープンいたしました。

以上の結果、売上高は62億80百万円（前年同四半期比14.2％増）、セグメント利益（営業利益）は２億31百万円（前年同四半期比28.4％増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて18億82百万円増加し、361億17百万円となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13億97百万円増加し、222億29百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少した一方、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて４億85百万円増加し、138億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成25年５月10日発表から変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,550,956	4,024,619
受取手形及び売掛金	6,271,070	7,293,807
有価証券	3,719	－
商品及び製品	2,690,881	2,948,224
仕掛品	69,396	61,640
原材料及び貯蔵品	36,326	39,611
その他	666,957	622,305
貸倒引当金	△348,905	△376,811
流動資産合計	12,940,403	14,613,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,202,992	4,066,865
土地	12,368,271	12,401,451
その他（純額）	915,421	1,016,565
有形固定資産合計	17,486,685	17,484,882
無形固定資産	328,367	353,360
投資その他の資産		
その他	3,587,172	3,776,425
貸倒引当金	△107,950	△110,644
投資その他の資産合計	3,479,222	3,665,780
固定資産合計	21,294,275	21,504,022
資産合計	34,234,678	36,117,419
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080,464	3,321,759
短期借入金	7,695,000	7,260,000
1年内返済予定の長期借入金	1,704,714	1,860,215
未払法人税等	239,464	44,562
賞与引当金	307,370	214,934
その他	1,778,728	1,839,012
流動負債合計	13,805,741	14,540,484
固定負債		
長期借入金	5,223,345	5,887,208
退職給付引当金	150,986	103,519
役員退職慰労引当金	742,900	753,000
その他	909,316	945,235
固定負債合計	7,026,548	7,688,962
負債合計	20,832,289	22,229,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,650,022	9,955,709
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	12,943,860	13,249,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,402	454,286
その他の包括利益累計額合計	274,402	454,286
少数株主持分	184,126	184,139
純資産合計	13,402,388	13,887,972
負債純資産合計	34,234,678	36,117,419

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	44,270,858	48,898,278
売上原価	35,337,461	40,291,503
売上総利益	8,933,397	8,606,775
販売費及び一般管理費	8,236,914	8,144,306
営業利益	696,482	462,468
営業外収益		
受取利息	10,533	3,342
受取配当金	34,319	29,841
受取賃貸料	112,716	112,849
貸倒引当金戻入額	106,797	－
その他	161,302	278,897
営業外収益合計	425,668	424,930
営業外費用		
支払利息	122,235	105,180
賃貸費用	50,365	44,202
その他	14,662	26,052
営業外費用合計	187,263	175,435
経常利益	934,887	711,963
特別利益		
固定資産売却益	2,060	4,697
特別利益合計	2,060	4,697
特別損失		
固定資産売却損	4	－
特別損失合計	4	－
税金等調整前四半期純利益	936,943	716,660
法人税、住民税及び事業税	292,882	133,804
法人税等調整額	63,153	91,170
法人税等合計	356,036	224,975
少数株主損益調整前四半期純利益	580,907	491,685
少数株主利益	12,440	3,904
四半期純利益	568,466	487,781

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	580,907	491,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,017	179,884
その他の包括利益合計	8,017	179,884
四半期包括利益	588,924	671,570
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	576,484	667,665
少数株主に係る四半期包括利益	12,440	3,904

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー	フード&ビバレッジ	ライフスタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,564,439	4,204,886	5,501,533	44,270,858	―	44,270,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,615	19,682	130,679	189,977	△189,977	―
計	34,604,054	4,224,568	5,632,212	44,460,836	△189,977	44,270,858
セグメント利益	737,685	274,688	180,675	1,193,050	△496,567	696,482

（注）１．セグメント利益の調整額△496,567千円には、セグメント間取引消去9,452千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△506,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー	フード&ビバレッジ	ライフスタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,658,225	3,959,872	6,280,179	48,898,278	―	48,898,278
セグメント間の内部売上高又は振替高	64,109	23,080	85,291	172,482	△172,482	―
計	38,722,335	3,982,953	6,365,471	49,070,760	△172,482	48,898,278
セグメント利益	545,510	171,926	231,984	949,421	△486,952	462,468

（注）１．セグメント利益の調整額△486,952千円には、セグメント間取引消去8,598千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△495,551千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。